

株式会社セキュア（証券コード：4264）

2026年12月期第2四半期決算説明資料

FY2026 Q2 Financial Results Presentation

**営業利益 前期比+99%、進捗率は37%だが当初計画通りの進捗
下期に向けて案件の積み上げは順調**

< 戦略的提携とグループシナジーで、中長期の成長を力強く牽引 >

SECURE

Company
SECURE Inc.

Ver.
2026/8/13

FY2026 Q2進捗

売上高

4,110百万円

前年同期比
+24.5%進捗率
50.1%

営業利益

231百万円

前年同期比
+99.8%進捗率
37.3%

- ✓ 売上高は当初計画通りに進捗したことから、前年同期比+24.5%増収での着地
- ✓ 販管費は採用を中心とした人件費関連の先行投資、および展示会出展費用により増額も、営業利益は231百万円で、当初計画通り前年同期比+99.8%の着地
- ✓ セールス・マーケティング人員は前期末比で13名の純増
- ✓ 2月に株式会社TOUCH TO GOの株式取得を発表、4月1日付で連結子会社化が完了。AI Store事業とのシナジーにより、人手不足が深刻化する小売業界に向けた無人化・省人化ソリューションの提供を加速
- ✓ 6月に株式会社テスコムジャパンの株式取得を発表、7月1日付で連結子会社化が完了。ハードウェアの設計・製造機能を内製化し、AI × 決済 × ハードウェアの一体開発を加速

FY2026 見通し

売上高累計

8,206百万円

前年同期比
+20.0%

営業利益累計

620百万円

前年同期比
+90.1%

- ✓ 売上高は引き続き旺盛な需要拡大を背景に前期比+20.0%成長を見込む
- ✓ 人手不足を背景とした、AI・DX関連サービスの開発を強化し、積極的な販売を展開
- ✓ セールス人員の採用・教育は継続して取り組み
- ✓ M&Aの取り組みも強化

売上高は前年同期比 + 24.5% の成長、販管費は人件費関連の先行投資を中心とした増額でQ2単独期間は営業赤字で着地も
想定通りの進捗で、累計期間の営業利益は前年同期比 + 99.8% 増益の231百万円で着地
当期純利益は、特別損失の計上により一時的に押し下げられたものの、本業収益基盤の変動はなし

(百万円)	FY2025 Q2実績	FY2026 業績予想*	FY2026 Q2実績	前期比 (FY25-26比較)		業績予想※ 進捗率
				増減額	増減率	
売上高	3,300	8,206	4,110	+809	+24.5%	50.1%
SECURE AC (入退室管理システム)	785	-	1,136	+350	+44.6%	-
SECURE VS (監視カメラシステム)	2,131	-	2,416	+284	+13.4%	-
SECURE Analytics (画像解析サービス/その他)	120	-	188	+68	+56.9%	-
SECURE ES (エンジニアリングサービス)	263	-	369	+106	+40.3%	-
売上総利益	1,333	-	1,663	+329	+24.7%	-
販売管理費	1,218	-	1,432	+214	+17.6%	-
営業利益	115	620	231	+115	+99.8%	37.3%
営業利益率 (%)	3.5%	7.6%	5.6%	+2.1%	-	-
経常利益	98	600	214	+115	+117.1%	35.8%
税引前当期純利益	98	-	172※	+73	+74.7%	-
当期純利益	49	410	89	+39	+79.9%	21.8%

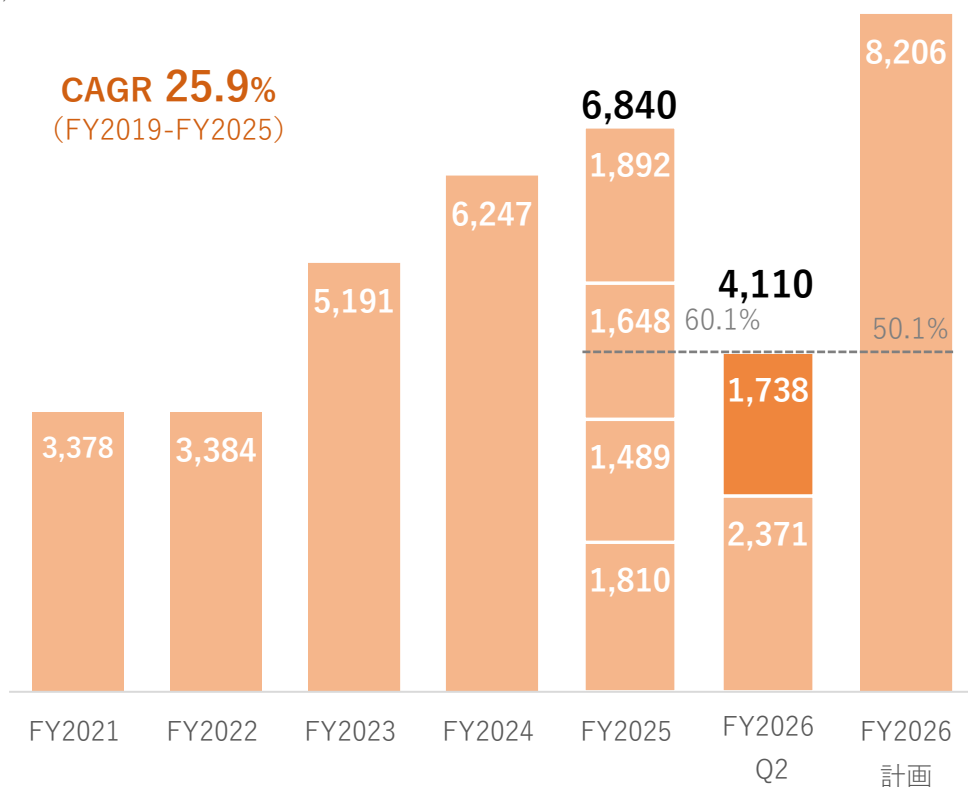
2026年12月期第2四半期全体売上・売上総利益

SECURE

Q2単独期間は季節変動性の影響はあるものの前年同四半期比+16.7%伸長、通期計画に対してインライン
売上総利益率は、為替・インフレ等の外部要因があるも40%台を維持

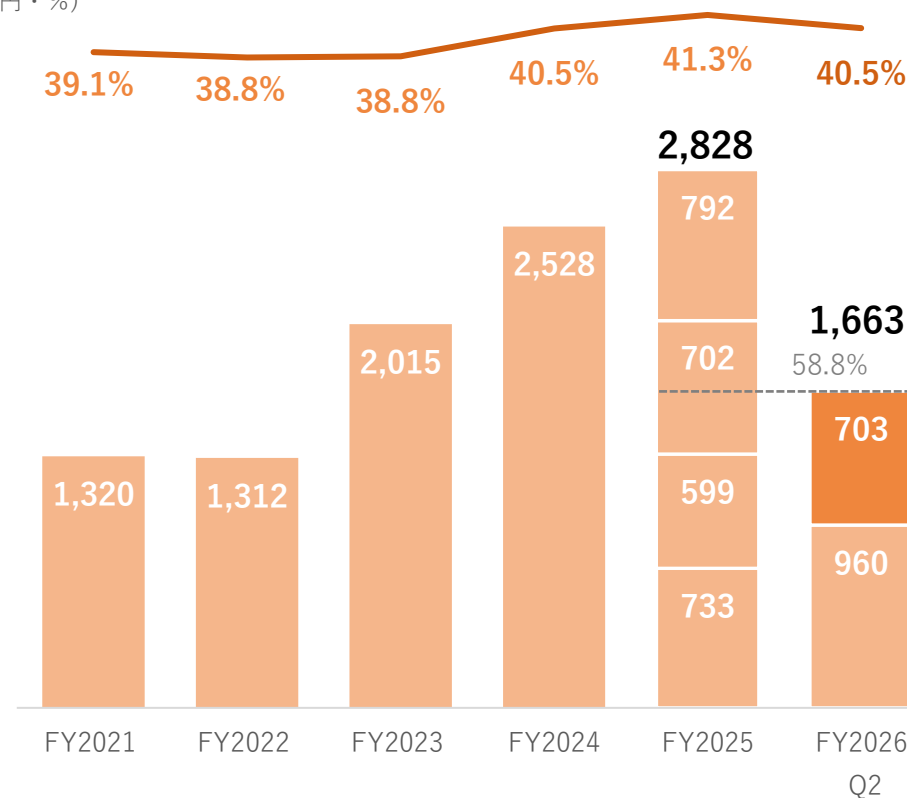
売上高

(百万円)



売上総利益・総利益率

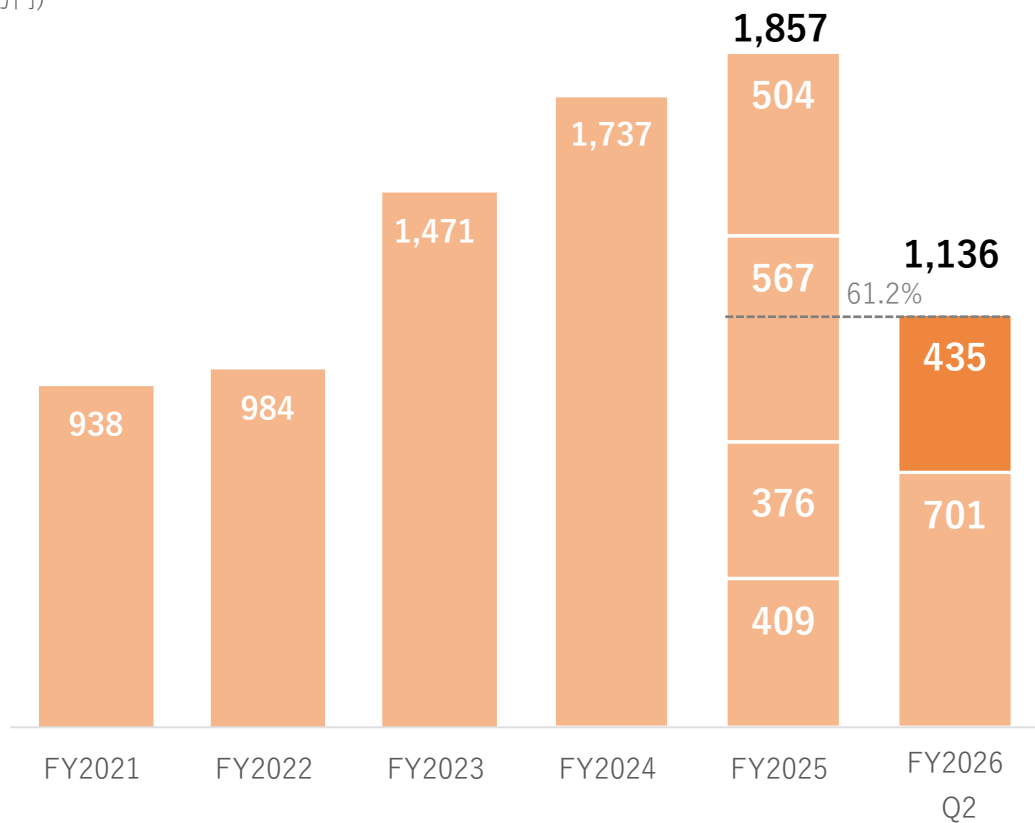
(百万円・%)



リテール向けの大型案件が寄与し、前年同期比+44.6%増収で着地
導入件数は前年同期と比べ減少も、大型案件の影響により案件単価が上昇

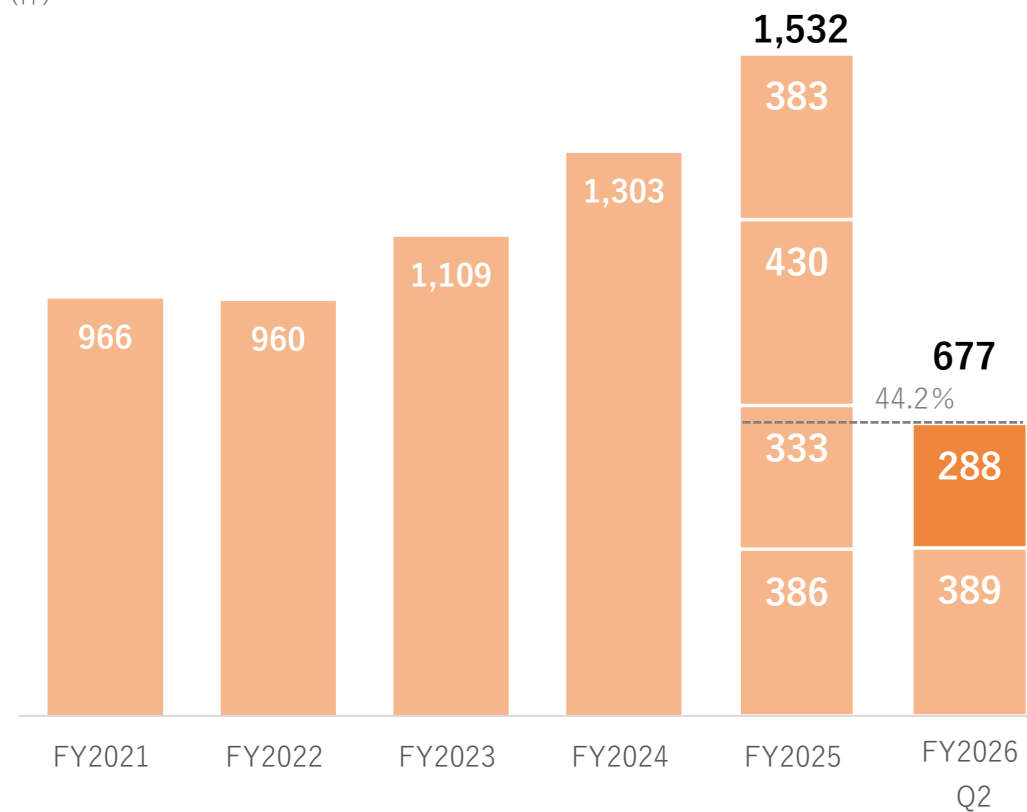
売上高

(百万円)



SECURE AC 導入件数

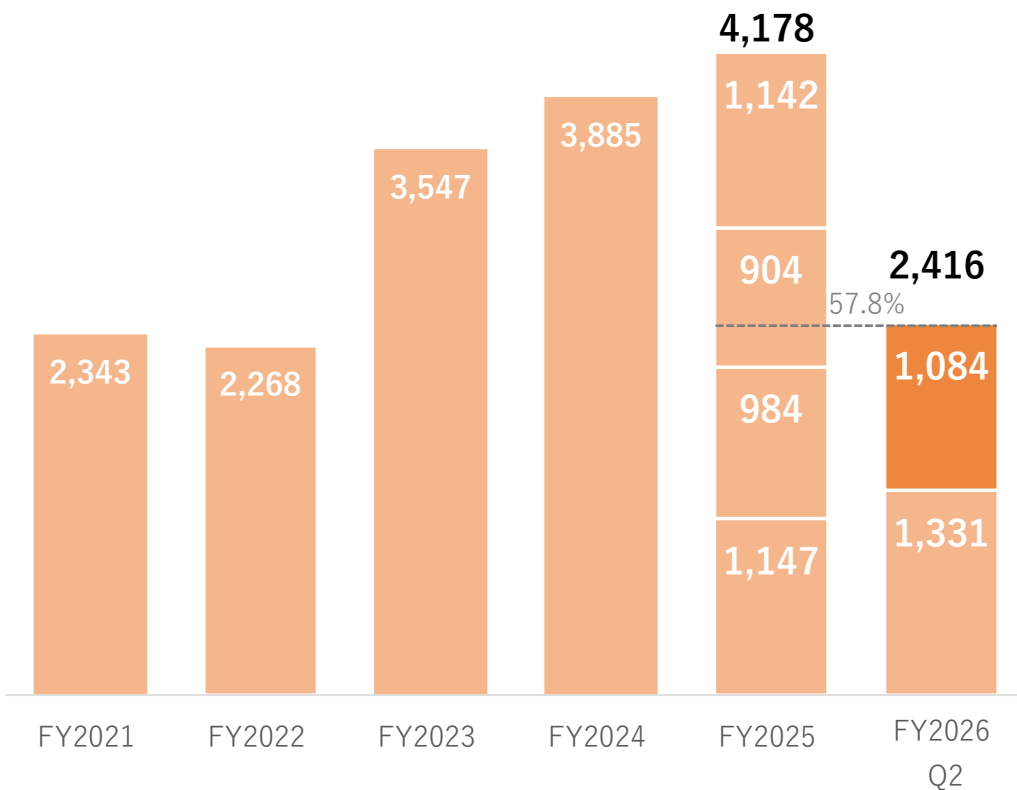
(件)



物流施設、データセンター向けの大型案件が寄与し、増収で着地
導入件数は下回るが、前年の特殊小規模案件の反動によるものであり、マーケットは引き続き堅調

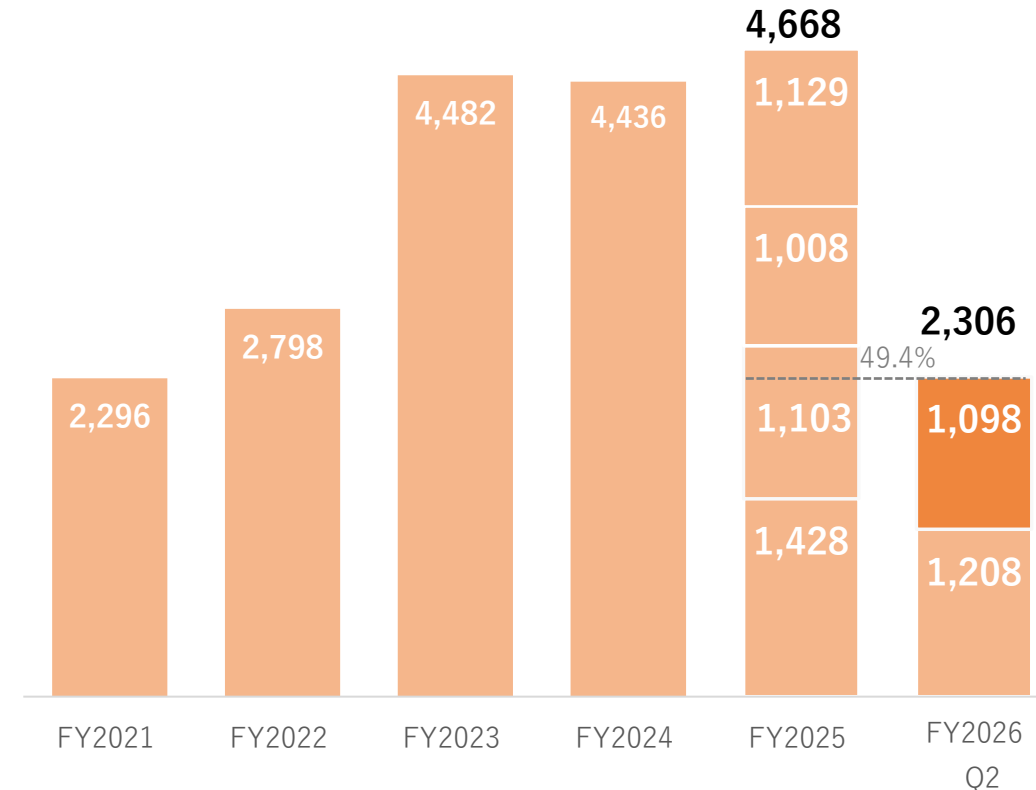
売上高

(百万円)



SECURE VS 導入件数

(件)

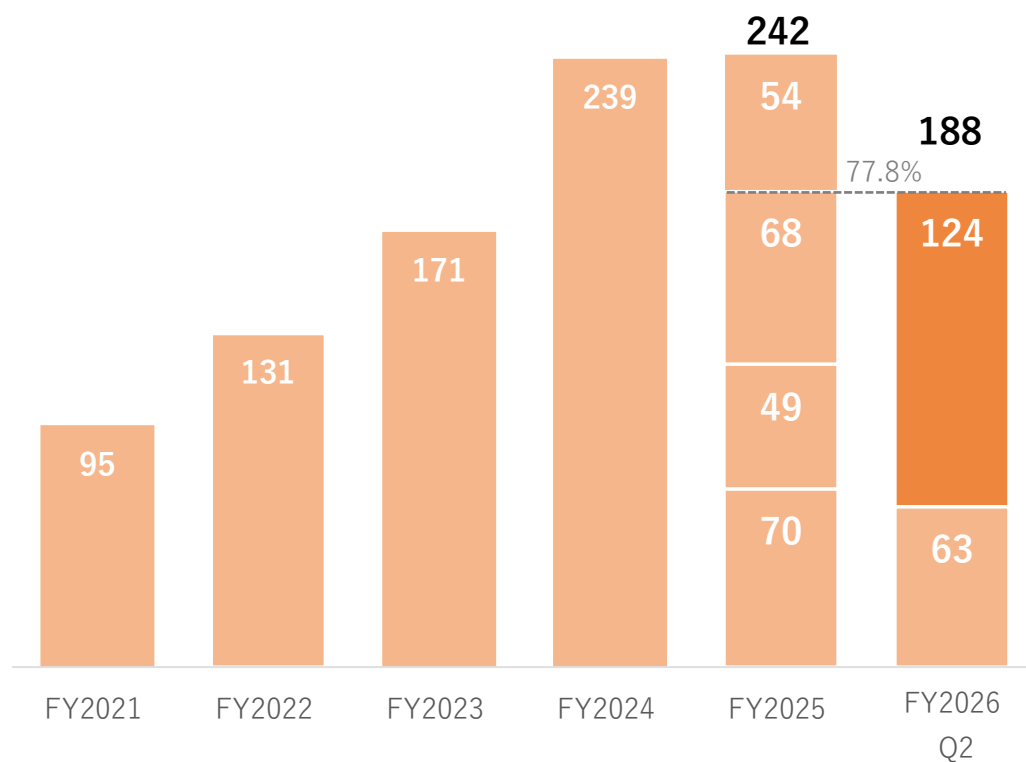


「SECURE Analytics/その他、SECURE ES」業績推移

Analyticsはリテール向け大型案件納品により前年同期比+56.9%増収での着地
SECURE ESは前年Q3以降のメディアシステムの取込みもあり増収で着地

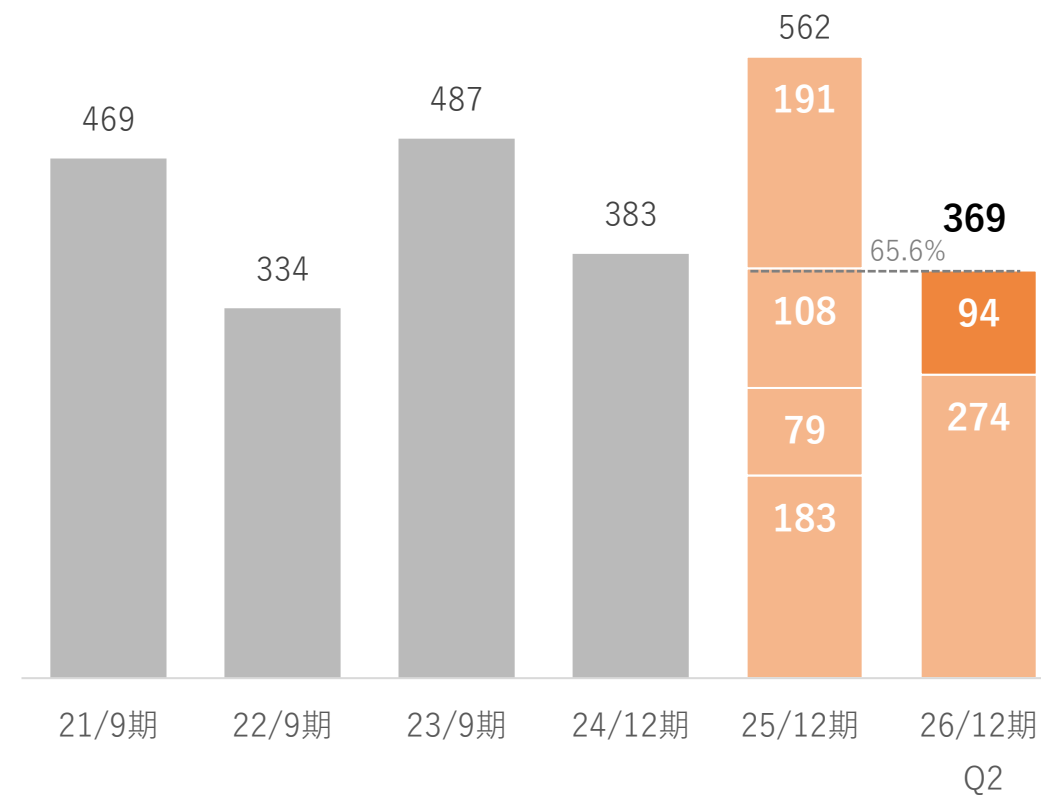
SECURE Analytics / その他 売上高

(百万円)

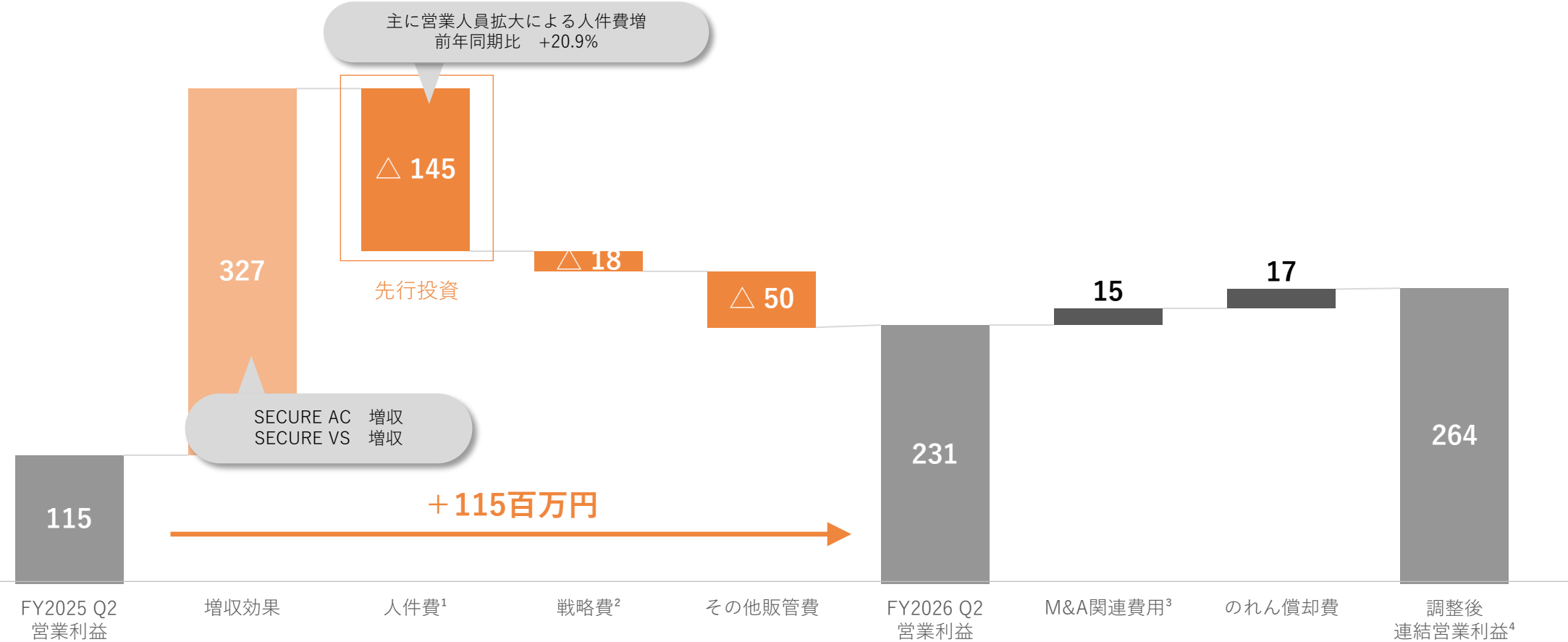


SECURE ES 売上高

(百万円)

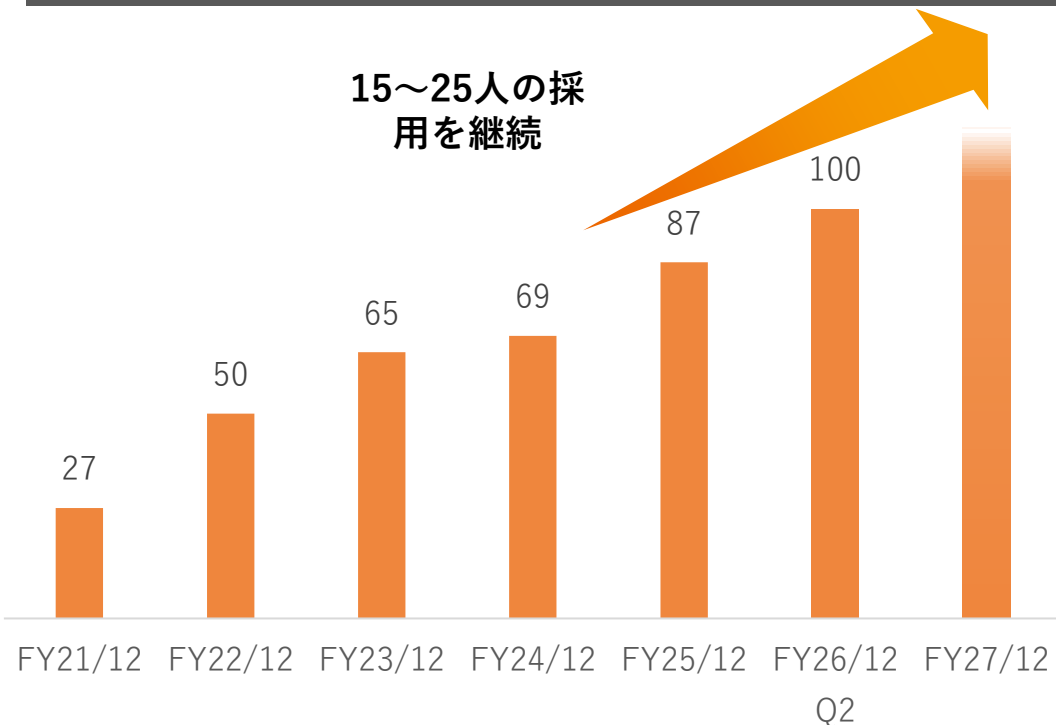


先行投資である人件費を中心に販管費が増額も、増収効果により増益で着地のれん償却費、M & A関連費用の影響を除く調整後営業利益は264百万円での着地



新規採用は前期末比で13名の純増となり、セールス・マーケティング人員100名体制を構築
今後も引き続き新規採用は継続しつつ、AI活用により生産性・スキルの向上を図る

セールス・マーケティング人員数推移



セールス人員の成熟化までは約1.5～2年
先んじて採用を行い、業績拡大に繋げる

拠点拡大



- 22年7月名古屋オフィス開設（現 名古屋営業所）
- 23年1月大宮・横浜オフィス開設
- 23年4月広島オフィス開設
- 24年7月札幌オフィス開設
- 25年4月仙台オフィス開設

基盤強化



- マーケティング活動の強化
- Security System Labにおける独自の教育制度
- 採用力の強化

2026年4月1日に（株）セキュアが56%の株式を取得しグループイン
無人決済システムの開発及びソリューションの提供を手掛ける

会社情報

会社名	株式会社 TOUCH TO GO
所在地	東京都港区高輪2-21-42 TokyoYard Building 8F
設立年	2019年7月1日
資本金	1億円
従業員数	60名

沿革

2017年	無人決済店舗システムの実用化を目指し実証実験を始める
2019年	JR東日本スタートアップ(株)及びサインポスト(株)のJVによりカーブアウトスタートアップとして設立
2020年	JR高輪ゲートウェイ駅に初の無人決済店舗TOUCH TO GOをオープン
2025年	2025年2月～11月、JR East Business Development SEA Pte. Ltd.の支援を受け、国外進出第1号として、JTC Corporation（シンガポール政府企業）に「TTG-SENSE」を採用いただき実証実験を実施。

サービス導入事例



 FamilyMart

 Tokyu Store



 LUMINE

 BECK'S
COFFEE SHOP

株主構成

株主名	持分比率
株式会社セキュア	56.2%
JR東日本スタートアップ株式会社	20.0%
株式会社ファミリーマート 東芝テック株式会社 グローリー株式会社	計23.8%

両社のタッグにより様々な規模の業種へアプローチ、無人化/省人化店舗の幅広い普及を目指す

SECURE AI STORE LAB 2.0

高単価×大規模

完全レジレス

- ・セキュリティ分野で培ったテクノロジー
- ・全国展開を可能とするサポート力
- ・店舗の安全・運用・収益化を総合的に支援

ターゲット

レジ

強み

TOUCH TO GO

低単価×小規模

多様な無人決済ソリューション
(現金やポイントも可)

- ・累計250店超の豊富な導入実績
- ・高い実用性と市場適応力
- ・カスタマイズ性の高い商品ラインナップ



SECURE AI STORE2.0



JR高輪ゲートウェイ駅「TOUCH TO GO」

テスコムジャパン社の完全子会社化①

SECURE

2026年7月1日に（株）セキュアが全株式を取得しグループイン

会社情報

会社名	株式会社 テスコムジャパン
本社所在地	京都府京都市山科区勸修寺東金ヶ崎町45番地
設立年	2000年 8 月22日
資本金	5,000万円
事業内容	CCTV・セキュリティ機器、電子応用機器の設計・製造(OEM/ODM)、回路設計~組立まで一貫した開発機能を保有

沿革

2000年	映像機器のOEM向け製品開発を目的として有限会社テスコムジャパンを設立
2003年	株式会社に組織変更
2020年	東京事務所・相模原R&Dセンターを移転統合し、東京支店を開設
2010年	京都本社・東京支店においてISO9001認証取得（登録番号QC10J0013）
2025年	業務拡大に伴い、特斯科姆科技（深圳）有限公司（TESCOM CHINA CO., LTD.）を完全子会社として新規設立、本社移転

その他概要



京都本社外観

TESCOM
CCTV SYSTEM SOLUTION



出典:株式会社テスコムジャパン公式サイト(tescomjp.com)

拠点

京都本社	京都府京都市山科区勸修寺東金ヶ崎町45番地
東京支店	東京都新宿区四谷4丁目29-9 しんまつビル5F
中国拠点 (全資子会社)	特斯科姆科技（深圳）有限公司（TESCOM CHINA CO.,LTD） 深圳市宝安区石岩街道应人石社区天宝路2号新永丰工业园B栋二层

ハードウェアの設計・製造機能を内製化し、【AI×決済×ハードウェア】(Made in JAPAN) の一体開発を加速

業績その他

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高	568	649	692
営業利益	△0	41	65
純利益	5	32	48
純資産	361	393	442

業績見通し

のれん償却負担を吸収し、連結利益にプラスで寄与する見込み

第3四半期より貸借対照表を、第4四半期より損益計算書を連結する予定

のれんの金額・償却期間および業績への影響額は現在精査中。確定次第、速やかに開示

期待される主なシナジー効果

1 ハードウェア開発機能の内製化

電子回路設計・機構設計・金型設計・基板実装・組立まで一貫した開発機能を取得。品質・コスト・開発スピードを自社でコントロール。

2 AI×決済×ハードウェアの一体商品化

セキュアのAI画像認識、TOUCH TO GOの無人決済とテスコムジャパンの技術を融合。万引き防止・省人化のリテールDXデバイス開発を加速。

3 グループ販路のクロスセルで新領域開拓

オフィス・工場向け顧客基盤に加え、官公庁(メディアシステム)・リテール(TOUCH TO GO)の販路と融合し、データセンター・マンション・学校等へ展開。

セキュアとのシナジーによって同社の売上・利益を継続的に拡大

FY26/12は下期偏重の利益計画であり上期は当初計画通りの着地、戦略的提携を軸に引き続き中長期での成長を加速
下期はこの成長基調のもと、セキュアグループ一体で、さらなる事業拡大とシナジー創出を本格化

(百万円)	FY2025	FY2026	FY2026 業績予想		
	実績	Q2実績	計画	前期比増減額	前期比増減率
売上高	6,840	4,110	8,206	+1,365	+20.0%
営業利益	326	231	620	+293	+90.1%
営業利益率 (%)	4.8%	5.6%	7.6%	+2.8%	-
経常利益	299	214	600	+300	+100.1%
税引前当期純利益	299	172	600	+300	+100.1%
当期純利益	187	89	410	+222	+118.6%